

# 高リピート率実現 with 鎮痛療法



株式会社 ホリスティック・ラボ

# 1. たった3ステップ！リピート率 新患100%、5回97%を実現

## Step1 選抜 “自院に来院すべき患者様なのか”

Q.得意な症状か

Q.きっかけは

Q.通院の意欲は

合わなければ、断る勇気を

## Step2 実感 “主訴を消失・激減させる”

【目的】サプライズと希望

※徒手検査からの説明ではサプライズは感じない

※可動域アップだけでは希望は持たない

## Step3 モチベーション

“通院へのモチベーション”

症状が消失・激減し、驚きを感じ、

『良くなるかも』と希望が湧いたその瞬間に...

「5回くらい来ていただければ、  
この程度まで改善しますよ！」

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |



- [illegible]

## 2.数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# 首痛

## 2.鎮痛操体法



- ①肩甲骨上部と外側部を抑え、肩甲骨の動きをロックする
- ②患者さんに肘を伸ばしたまま、前方から腕を3回上げてもらう  
(水平よりやや上まで)
- ③同じように、側方から腕を3回上げてもらう  
(水平よりやや上まで)

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# 首痛

## 3. 鎮痛点療法



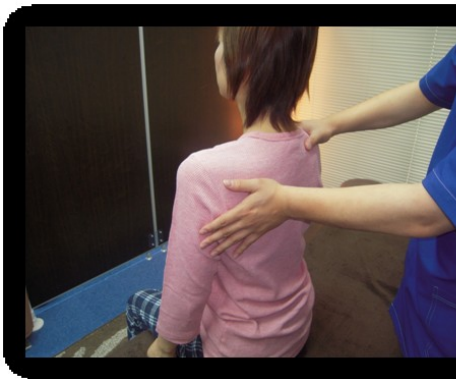
- ① 患者さんの痛みがある側の腕を施療者の方に乗せる
- ② 患者さんに痛みを再現していただき、脇の下でその痛みが消える点を探し、痛む方向にリズムカルに押圧し緩める
- ③ その点を押圧したまま、痛かった動きを3～5回行っていただく  
(患者さんの動作が終わるまで押圧緩めない)

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# 肩痛 (四十肩・五十肩など)

### 1. 鎮痛膜療法



- ①ローテータカフ(棘下筋・棘上筋・小円筋)の起始部に手根をあて、押圧したまま停止部に向かって緩める

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



### 肩痛 (四十肩・五十肩など)

#### 2. 鎮痛操体法



- ①患者さんの患側の肩甲骨を一方の拇指で上方から固定する。
- ②患者さんのひじをしっかりとつかみ、前方に動かしながらロックされるまで内旋、続けて、後方に動かしながらロックされるまで外旋。
- ③これを3～5回ゆっくり繰り返す。

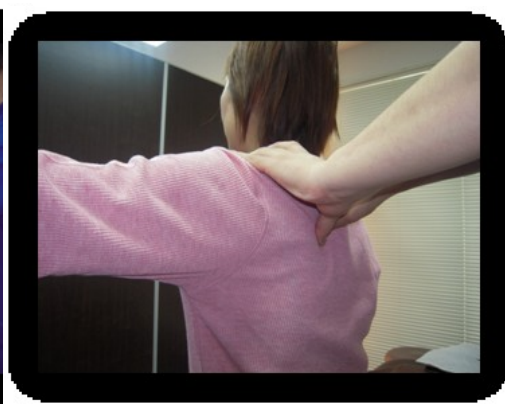
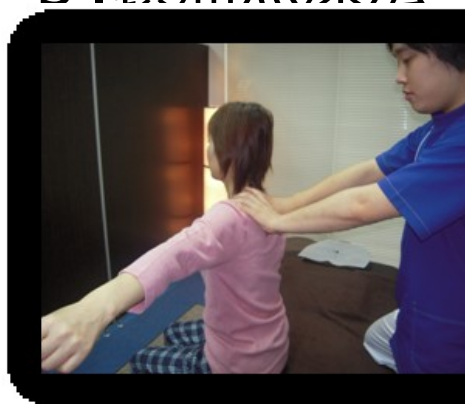
※動かすと痛みがある場合は行わない。

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# 肩痛 (四十肩・五十肩など)

## 3. 鎮痛点療法



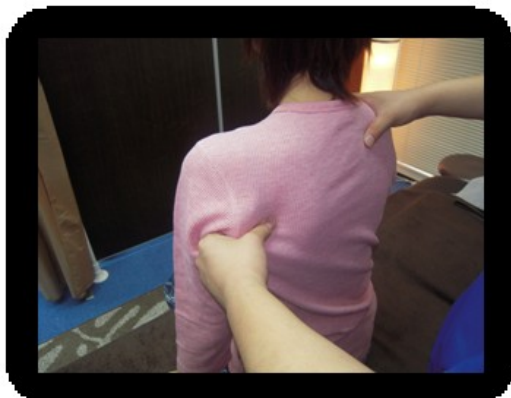
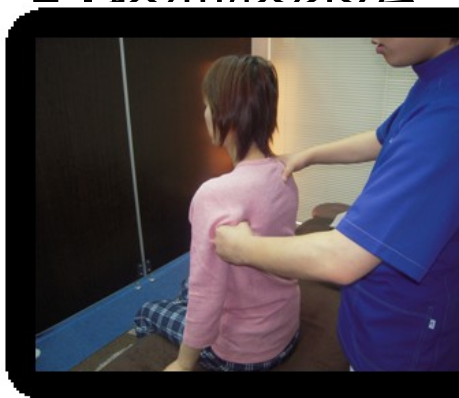
- ①患者さんに痛みを再現していただき、ローテータカフ(棘下筋・棘上筋・小円筋)の起始部筋腱移行部あたりで痛みが消える点を探す
- ②その点を押圧したまま、痛かった動きを3～5回行っていただく  
(患者さんの動作が終わるまで押圧緩めない)

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



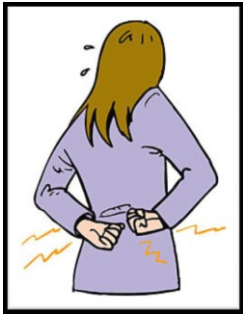
# 腰痛

### 1. 鎮痛膜療法



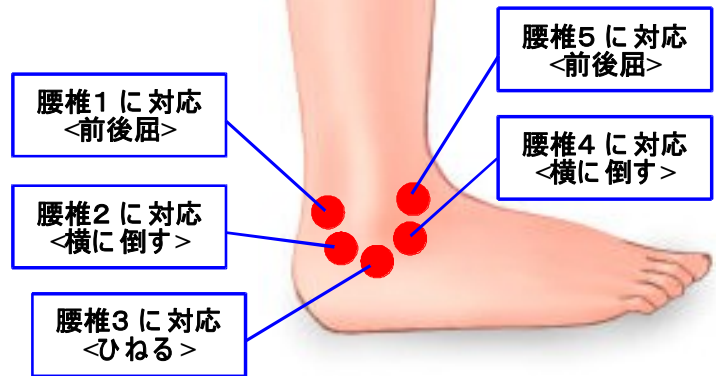
- ①脇の下後側(広背筋停止部)に硬結部を見つけ揺らすように緩める
- ②同じく拮抗する脇の下前面(胸筋)に硬結部を見つけ揺らすように緩める

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# 腰痛

## 2. 鎮痛操体法 《特に痛みが強い場合》



- ① 身体の動きの支点を仙骨と考えた場合、腰椎が作用点となり、力点が足首である。(関連性は上図参照)

屈曲・伸展で最も痛みが再現した場合、腰椎1・5の可動域に問題があるので、患側の後脛腓靭帯と全脛腓靭帯を、側屈で最も痛みが再現した場合、腰椎2・4の可動域に問題があるので、患側の後距腓靭帯と前距腓靭帯を、回旋で最も痛みが再現した場合、腰椎3の可動域に問題があるので、患側の踵腓靭帯を拇指で固定し、足首の屈曲・伸展を5～10回行う。

※問題がある靭帯は、押圧すると鋭い痛みがある場合が多い。

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



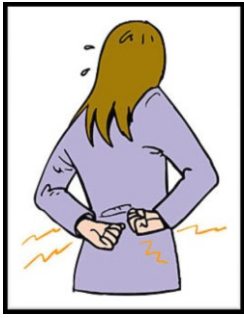
# 腰痛

### 3-1. 鎮痛点療法 《特に後屈でヤコビーより下方が痛む場合》



- ①うつ伏せで片脚、または、両脚のひざを曲げ、かかとを臀部方向に引き寄せ、痛みが発生させる
- ②脊柱起立筋の側部で、その痛みが消える点を探し、施療者が①の動きを3～5回行う

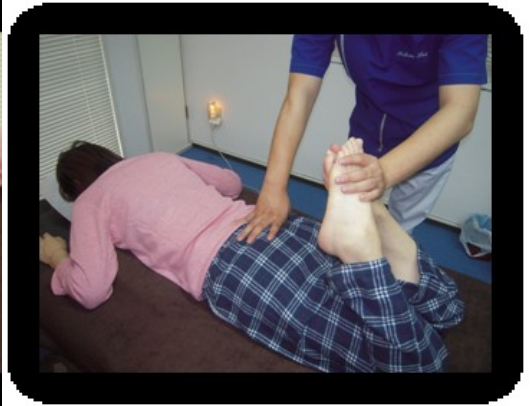
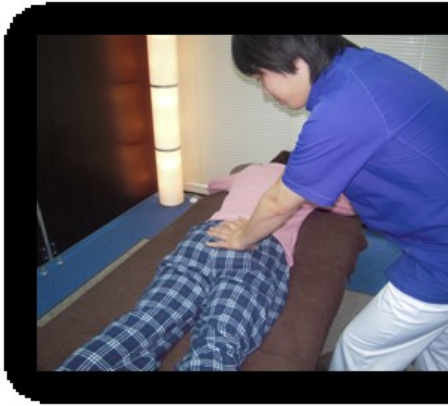
## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# 腰痛

### 3-2. 鎮痛点療法

《特に後屈でヤコビーより上方が痛む場合》



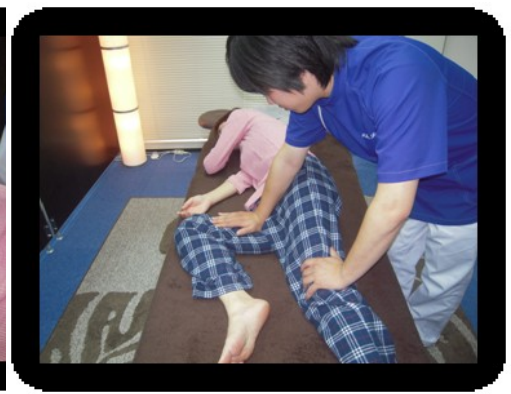
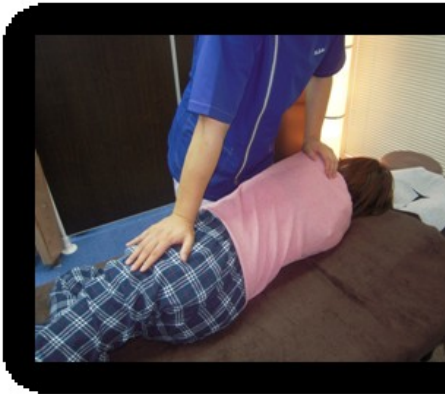
- ①うつ伏せで片脚、または、両脚のひざを曲げ、かかとを臀部方向に引き寄せ、痛みが発生させる
- ②臀部で、その痛みが消える点を探し、施療者が①の動きを3～5回行う

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# ひざ痛

### 1. 鎮痛膜療法



#### 【側方痛】

患者さんに痛い方を上に、横向きで寝ていただき、大腿筋膜張筋の起始部筋腱移行部あたりに手根をあて、ひざ方向に押圧しながら緩める

#### 【内側痛】

患者さんに痛い方を下に、横向きで寝ていただき、内転筋群の起始部筋腱移行部あたりに手根をあて、ひざ方向に押圧しながら緩める

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# ひざ痛

## 2. 鎮痛操体法



- ① 痛む方のひざを両手でつかみ、抵抗を与えながら、患者さんに伸展・屈曲を3～5回行っていただく

## 2. 数分で痛みが激減！！ 鎮痛療法



# ひざ痛

### 3. 鎮痛点療法



#### 【外側痛】

大腿筋膜張筋、または、大腿四頭筋の停止部筋腱移行部あたりで痛みの消える点を探し、その点を押圧したまま、患者さんに伸展・屈曲を3～5回行っていただく

#### 【内側痛】

内転筋群の停止部筋腱移行部あたりで痛みの消える点を探し、その点を押圧したまま、患者さんに伸展・屈曲を3～5回行っていただく

※どちらも患者さんの動作が終わるまで押圧緩めない